

罪と罰 (1983)

RIKOS JA RANGAISTUS
CRIME AND PUNISHMENT

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス

製作国 フィンランド

色彩 Color

時間 93分

初公開日 2002/01/26

公開情報 ユーロスペース

【キャッチコピー】

殺人は、時代への復讐だった。
アキ・カウリスマキの驚異の処女作

【解説】

フィンランドの鬼才アキ・カウリスマキ監督のデビュー作。弱冠26歳にして初監督の彼が挑んだのは難解で知られる文豪ドストエフスキーの名作『罪と罰』。舞台を現代のヘルシンキに移し、人間の心の間に鋭く迫り、後の「ラヴィ・ド・ボエーム」や「白い花びら」といった作品群の原点を垣間見せてくれる。

食肉解体工場で働く青年ラヒカイネン。ある日、仕事が終わった彼は、町中でひとりの中年男の後をつけ、そのまま家の前まで行く。電報と偽り、ドアが開いたところで男にピストルをつきつけるラヒカイネン。命乞いの言葉も虚しく、理由も分からないまま殺される男。そこへ、若い女が買い物袋を下げて入ってきた。彼女はケータリング店の店員で、この家で開かれるはずだったパーティの手伝いに来たのだ。だが、女はなぜか悲鳴も上げずに彼を逃してしまう。やがて捜査線上にラヒカイネンが浮上するが、彼は巧みに捜査を攪乱して逃げ続ける……。

【クレジット】

監督	アキ・カウリスマキ	Aki Kaurismaki	
製作	ミカ・カウリスマキ	Mika Kaurismaki	
原作	ドストエフスキー	Dostoevsky	
脚本	アキ・カウリスマキ パウリ・ペンティ	Aki Kaurismaki Pauli Pentti	
撮影	ティモ・サルミネン	Timo Salminen	
美術	マッティ・ヤーラネン	Matti Jaaranen	
編集	ヴェイッコ・アールトネン	Veikko Aaltonen	
音楽	ショスタコーヴィチ シューベルト	Shostakovich Schubert	
録音	ミカエル・シエヴェルス	Mikael Sievers	
出演	マルック・トイッカ アイノ・セッポ エスコ・ニッカリ マッティ・ペロンパー オッリ・トゥオミネン	Marukku Toikka Aino Seppo Esko Nikkai Matti Pellonpaa Olli Tuominen	ラヒカイネン エーヴァ ベナネン警部 ラヒカイネンの友人 スネマン警部